

あなたとぎかい

かとり市議会だより

2025.11.1 No. 79

おみこしワッショイ!



みこし ふるさとのこども神輿

令和7年8月7日、9日に八都小学校区まちづくり協議会主催の『第14回八都夏祭り』が八都保育園で開催されました。

当日は多くの方々が参加され、みんなで故郷を盛り上げました。

CONTENTS	こんなことが決まりました ② 決算審査特別委員会報告 ④ 議案および採決結果 ⑥ ココがききたいQ&A 12人が質問しました ⑦ 全国市町村交流レガッタ／議会改革特別委員会中間報告 ⑨ 議場見学 水の郷小／お知らせ ⑩
----------	---

議会ライブ中継録画映像
スマホでも本会議の動画が視聴できます▶



9月
定例会

こんなことが決まりました！

審議結果

令和7年9月定例会を8月26日から9月19日までの25日間にわたり開催しました。9月8日から10日までの3日間、決算審査特別委員会を開催し、令和6年度の決算を審査しました。また、9月11日には総務政策常任委員会、福祉教育常任委員会、9月12日には生活経済建設常任委員会を開催し、補正予算をはじめ条例の一部改正など、付託された議案を審議しました。審議の一部をご紹介します。

● 審議された議案等…計28件 市長提出議案…13件／認定…12件／諮問…1件

議員発議案…1件／請願…1件

(報告…7件)

総務政策常任委員会

PICK UP 1

● 議案第1号

令和7年度香取市一般会計補正予算(第4号)について

**国のシステム更新に合わせ
Jアラートシステムを更新**

Q 防災行政無線設置管理事業でJアラートシステムの更新周期は。

A 国のシステム更新に合わせて、全国の自治体等が更新を行います。現在、運用している受信機は導入から6年以上が経過しており、一般的に通信機器の耐用年数は、6年から10年ぐらいが1つの目安になります。



防災行政無線屋外拡声子局スピーカー

PICK UP 2

総務政策常任委員会

● 議案第1号

令和7年度香取市一般会計補正予算(第4号)について

**循環バスでICカード
の使用が可能に**

Q 循環バス運行事業でICカード対応となるバスは何台か。

A 現在運行している4台の循環バスと予備車2台の合計6台で、交通系ICカードに対応する予定となっています。



総務政策常任委員会

福祉教育常任委員会

●議案第2号

令和7年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

介護保険給付準備基金積立金を介護保険料の上昇抑制に活用

Q 介護保険給付準備基金積立金の補正があるが、現在の基金残高は。また、この基金は今後どのように活用するのか。

A 令和6年度末現在で、16億929万2560円となっています。今後ますます介護サービスを利用する方が増えて、保険給付が増えることが予想されますが、そのような状況になっても介護保険料の上昇を抑制するために、この基金を活用していきます。

生活経済建設常任委員会

●議案第6号

令和7年度香取市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について

黒部川右岸地区のマンホールポンプを更新

Q 建設改良費におけるマンホールポンプの補修の内容は。

A 黒部川右岸地区の管路施設の一部であるマンホールポンプ設備の1箇所の不具合があり、当該マンホールポンプ設備の構成機器である水中ポンプ2台のうち、老朽化した1台を更新します。

生活経済建設常任委員会

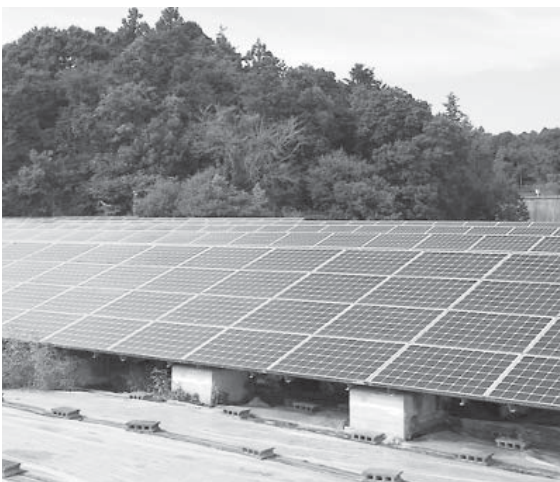
●議案第3号

令和7年度香取市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)について

伊地山太陽光発電所に新たな遮水シートを敷設

Q 修繕料1433万円が計上されているが、この内容は。

A 伊地山発電所において、雨水の浸透を防止するための遮水シート約1万2000㎡が、経年劣化により雨水処理に影響を及ぼしていることから、新たな遮水シートの敷設等を行います。



伊地山太陽光発電所

令和6年度決算の概要 お金の使い道を審査しました！



決算審査特別委員会

一般会計決算額

歳入 **403億2,732万8,962円** (前年度比 14億5,386万4,621円、3.74%増)

歳出 **379億7,254万9,652円** (前年度比 14億2,578万32円、3.90%増)

- 歳入歳出差引額 23億5,477万9,310円
- 翌年度繰越財源 1億3,050万1,994円
- 実質収支額 22億2,427万7,316円

特別会計決算額

●国民健康保険事業

歳入 **93億5,199万8,408円**

歳出 **91億1,665万5,665円**

- 歳入歳出差引額 2億3,534万2,743円

●介護保険事業

歳入 **81億3,151万 114円**

歳出 **79億5,543万3,148円**

- 歳入歳出差引額 1億7,607万6,966円

●観光事業

歳入 **1億7,369万2,830円**

歳出 **1億7,369万2,830円**

- 歳入歳出差引額 0円

●土地取得事業

歳入 **414円**

歳出 **414円**

- 歳入歳出差引額 0円

●後期高齢者医療事業

歳入 **12億5,480万3,698円**

歳出 **12億5,097万 198円**

- 歳入歳出差引額 383万3,500円

●太陽光発電事業

歳入 **3億2,359万8,175円**

歳出 **2億7,706万6,451円**

- 歳入歳出差引額 4,653万1,724円

●病院事業債管理

歳入 **5億1,145万2,462円**

歳出 **5億1,145万2,462円**

- 歳入歳出差引額 0円

市長は、監査委員のチェックを受けた令和6年度の決算書について、議会の審査を受け、期日までに議会の認定を受けなければなりません。審査の結果、全ての決算が認定されました。

公営企業会計決算額

●水道事業

収益の収入 **20億4,383万3,866円**

収益の支出 **18億4,173万9,097円**

資本の収入 **15億3,332万8,464円**

資本の支出 **24億7,179万1,289円**

●簡易水道事業

収益の収入 **1億4,258万3,315円**

収益の支出 **1億2,526万2,302円**

資本の収入 **1億2,080万4,090円**

資本の支出 **1億7,802万 19円**

●公共下水道事業

収益の収入 **15億9,722万1,802円**

収益の支出 **14億6,764万7,403円**

資本の収入 **5億9,923万 324円**

資本の支出 **11億 278万3,713円**

●農業集落排水事業

収益の収入 **2億4,851万6,663円**

収益の支出 **2億 764万2,010円**

資本の収入 **1億3,393万8,942円**

資本の支出 **1億8,973万2,597円**

市税の収入済額が減少

Q 市税の収入済額が前年度と比較し、2億7400万円減少しているが、その要因と市税全般における今後の見通しは。

A 令和6年度個人市民税の定額減税の実施により、約2億8700万円の減税を行ったことが要因となっています。市税全般における今後の見通しは、生産年齢人口の減少などの社会的要因の影響は大きく、長期的には減少傾向にあると考えています。

シティプロモーションで観光誘客や知名度向上に効果

Q シティプロモーション事業の内容と成果は。

A シティセールス推進業務として千葉テレビに委託し、PR番組を制作・放送したもので、佐原の町並み紹介や、市長が出演した新春特番を放送し、観光誘客や知名度向上に効果がありました。次にスロ

ーシティ推進支援業務として慶應義塾大学と連携し、市内全域を対象に伝統行事や景観、農産物や食文化など市民の暮らしを調査しています。この取り組みは、地域資源の再発見や郷土愛の醸成につながっています。



佐原の町並み

体験学習施設周辺の工事の実施・遊具などを購入

Q 橋ふれあい公園整備事業の内容は。

A 工事請負費では、体験学習施設の周辺の地盤沈下により露出した地面に植栽をしたほか、階段の設置、アスファルト舗装、暗渠排水設備設置などを行いました。また備品購入費では、遊具や野外卓4基を購入、設置しました。

保険適用となった不妊治療に助成金支給

Q 不妊治療助成金の国県の助成制度の内容と市の助成額は。

A 国では、これまで保険適用外となっていた一般不妊治療のタイミング法、人工授精、また、生殖補助医療の体外授精、顕微授精等を、令和4年4月から保険適用としました。このため、現在、国県では不妊治療等の助成事業は行われていませんが、香取市では、保険適用を受けた不妊治療費等の自己負担額から、高額療養費等の額を差し引いた金額の5割を年額5万円を上限に2年間助成しています。

省エネ家電製品買換え促進補助金

Q 省エネ家電製品買換え促進補助金の市民の反応は。

A 予算額1000万円で開始した1回目の申請受付は、5日間で254件の申請があり、予算上限に達し申請受付を終了しました。短期間で終了したため、補正予算にて1200万円を計上し、開始した2回目の申請受付は11日間で295件の申請があり予算上限に達したため申請受付を終了しました。いずれも短期間で終了したため、市民の省エネ家電製品への関心の高さが伺えました。



橋ふれあい公園遊具

議案および採決結果概要

※ 議長（久保木清司議員）は、採決に加わりません。 議案番号下の（ ）は、審査を付託した委員会名です。 ○：賛成 ×：反対
議案第11号・第12号は、常任委員会に付託されず採決されました。

議案 番号	議 案 名	審議結果	井上徹	藤木裕士	成毛伸吉	辻達広	内山勝己	木村博	佐藤好文	久保木清司	平野和伯	奥村雅昭	田代一男	鈴木聖二	高木寛	伊能敏雄	久保木宗一	田山一夫	坂部勝義	河野節子	根本太左衛門
議案第1号 (総務政策)	令和7年度香取市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 (福祉教育)	令和7年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 (生活経済建設)	令和7年度香取市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 (生活経済建設)	令和7年度香取市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 (生活経済建設)	令和7年度香取市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 (生活経済建設)	令和7年度香取市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 (福祉教育)	香取市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 (総務政策)	香取市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 (総務政策)	香取市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 (福祉教育)	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 (ー)	財産の取得について(香取市立小中学校教育用端末等購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 (ー)	財産の取得について(香取市立小中学校指導者用端末等購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 (総務政策)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第2号 令和7年度香取市一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号 (決算審査)	令和6年度香取市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 (決算審査)	令和6年度香取市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号 (決算審査)	令和6年度香取市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号 (決算審査)	令和6年度香取市観光事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号 (決算審査)	令和6年度香取市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号 (決算審査)	令和6年度香取市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号 (決算審査)	令和6年度香取市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号 (決算審査)	令和6年度香取市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号 (決算審査)	令和6年度香取市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号 (決算審査)	令和6年度香取市簡易水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号 (決算審査)	令和6年度香取市公共下水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第12号 (決算審査)	令和6年度香取市農業集落排水事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号 (ー)	人権擁護委員の候補者の推薦について(篠塚宏子氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第8号 (総務政策)	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	○	—	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×
発議案第1号 (ー)	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ココがききたいQ&A

伊能敏雄 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

スポーツ振興と運動施設の維持管理の今後を問う

Q. 32施設の使用状況を確認した。多くの施設は、利用度が高いが、佐原野球場や庭球場など利用度の低い施設を残していくか。

A. 佐原庭球場はソフトテニス競技の主要な会場なので、現時点では継続して使用できるように維持管理に努めていきます。また、香取市の既存施設は、合併前旧市町の各施設を引き継いでいる状況のため、将来的には施設の統廃合やほかの競技への転用など、市民ニーズも踏まえた施設の再整備の検討が必要と考えています。

Q. 大谷翔平氏の奇贈グローブの現況は。

A. 学校では、多くの子どもたちが使うためのルールを決めて使用を開始しました。休み時間にグローブを手に取り感触を確かめたり、自宅からグローブを持ち寄り大勢でキャッチボールをする子どもたちがいたりすると聞いています。

Q. 市道の歩道工事が行われた佐原公園の改修等は検討されているか。

A. 大規模な整備計画はありませんが、利用者の危険防止を目的に、銅像前の植え込みなどの整備をする予定となっています。

空き地・空き家に関する行政の対応

Q. 所有者不明土地の状況をどのように把握し、どのように対応しているか。

A. 令和7年4月1日現在、所有者が不明の宅地は107筆、面積は約3万6000㎡です。所有者不明土地の取得の相談があった際は、裁判所の許可を得ることで土地の取得が可能となる所有者不明土地管理命令申立ての 절차를案内しています。

Q. 行政代執行等や土地等の処分依頼への対応とその後、隣地所有者に購入意思確認を行うか。

A. 財産管理制度を活用し、財産管理人の選任を請求する際に売却の可能性が低い物件、再建築が不可能な物件は近隣土地所有者に購入意思を確認したことがあります。

Q. 地域おこし協力隊員にこれを担当する者がいる。どう活用するのか。

A. 空き家バンクや市場流通協定を活用した空き家の利活用推進に向けて建物所有者等への働きかけを行っています。

職員の服務規程と規律に関して

Q. 男女間で不適切な行為があった場合の市の対応は。

A. 一般的に勤務時間外の個人間の問題は、懲戒処分適用の対象となる項目は設定されていませんが、地方公務員法第33条に「職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない」と規定されています。職員は常にこれらの法令を遵守することが重要と考えています。

Q. 職員には、高い倫理意識が求められる。市として、綱紀粛正をどう図っていくのか。

A. 市長から「服務規律の徹底及び綱紀粛正について」職員に周知してきました。また、重大な法令違反事案には、市長が全管理職に対し直接指示を行い、再発防止の徹底を図っています。今後も、指導体制を強化し、綱紀粛正を推進していきます。

意見 地方公務員法第33条の規定に準じた行動を求めると共に公務員は全体の奉仕者等々、高い倫理感が求められる存在。不埒な職員の指導を怠ってはいけません。



たかぎ
高木

ひろし
寛
議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

市民の健康づくりにパークゴルフ場料金半日券導入を

Q: 橘ふれあい公園パークゴルフ場、キャンプ場の年度別入場者数と目標数との比較は。

A: パークゴルフ場利用者は、令和5年度が1万2382人、令和6年度が1万1960人。キャンプ場の利用者は、令和5年度が3195人、令和6年度が4551人。目標達成率は、パークゴルフ場で59.8%、キャンプ場で37.9%となっています。

Q: 両施設の今後の更なる入場者数の増加を図るための対応は。

A: パークゴルフ場では、各種大会開催のほか、無料開放デーを設けています。さらに、団体割引や暑い時間帯を避けてプレーできるように8月の開場時間を早めています。また、全日本パークゴルフ大会のチャンピオンシップ大会を活用して、橘ふれあい公園パークゴルフ場の魅力を発信し、知名度の向上につなげたいと考えています。キャンプ場ではSNSを活用したプロモーション展開が新規利用者の獲得につながっています。その他、体験イベントを定期的を実施するほか、企業・団体や施設等との相互連携による事業も進めています。

Q: パークゴルフ場料金の半日券の導入は、今後の市民の健康づくりと入場者の増加には絶対必要と思うが、伊藤市長の見解は。

A: 指定管理者との調整が必要なので、どのような形が利用者の満足度をアップさせることができるかを含め議論していきま

意見 パークゴルフ場及びキャンプ場の近年の入場者は極めて少なく、このままでは近い将来香取市における最大の不良債権となる。早期の半日券導入を伊藤市長に強く望む。

小見川地区五郷内第一市営住宅の早期解体を

Q: 小見川地区五郷内第一市営住宅は、近年老朽化が著しく、環境破壊と同時に防犯、防火の面からも大変危険である。以前から何回となく要望してきたが解体に至らなかった。伊藤市長が就任してから解体設計委託料や解体工事費が予算計上されたが、その現状と今後の対応は。

A: 五郷内第一住宅は、令和6年4月1日に市営住宅としての用途を廃止しました。施設全体の老朽化が著しく、景観上も好ましくないため、今年度解体を計画していますが、年度内の工事完了が難しいため繰越明許費の設定を提案しています。

山田地区桜の里の整備は

Q: 桜の里の桜約500本は、以前はあまり整備されず枯死寸前の状態。伊藤市長就任後整備費が予算計上されたが、その現状と今後の対応は。

A: 平成14年に「桜の里親制度」を導入し、住民との協働による桜の里づくりを進めてきました。今後は、現在発生している植物病害の蔓延防止の観点から、昨年度に引き続き樹木維持管理業務を実施することで適正な管理に努めていきます。

木村 博 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

水田政策の取り組み状況は

Q. 令和7年の主食用米の作付け計画は。
A. 約6176haと推測されます。

Q. 集落の農地維持の推進のため耕作者に燃料等の高騰分を助成できないか（地域計画の推進）。

A. 地域計画の推進の観点から、耕作者の負担軽減を含めた多角的な検討が求められるものと考えます。今後も地域農業の担い手が安心して経営拡大に取り組めるよう支援に取り組んでいきます。

Q. 米の高騰による税収の影響は。

A. 米の価格高騰により農業所得は増加傾向ですが、農業所得には野菜などの所得も含まれるため、米の価格高騰のみによる影響額を把握することは難しいと考えます。

選挙投票日の投票時間の短縮は

Q. 期日前投票が定着したことで、投票時間の短縮はできないか。

A. 選挙当日の投票時間の短縮は選挙人の投票機会を制限し、投票率の低下につながる恐れがあるため、現時点では考えていません。

市道Ⅰ-57号線工事の進捗状況は

Q. 今後の工事の工程は。

A. 新里地区から小川地区までの未整備区間690mで、盛土工事や切土工事を行った後、排水整備工事、舗装工事を予定しています。

学校給食の完全無償化の効果は

Q. 米飯の実施状況は。

A. 週5日のうち、米飯が4日、パンが1日で実施しています。

Q. 物価高騰による米飯やデザート減少は。

A. 令和7年4月から給食費を改定し、物価高騰を踏まえた予算を確保しているため、米飯食やデザート等を減らすことなく給食を提供しています。

Q. 米の高騰対策として、水稻生産農家との連携は。

A. 給食で使用する米は、年間を通じ冷蔵保存する設備があることや、異物や変色米を除去する精米精度を求めるなどの納入基準を設けており、個人や小規模事業者の場合、これらが課題になることが考えられます。

子育てへの支援の状況は

Q. 保育園やこども園等への補助金、交付金はどのようなものがあるか。

A. 主なもので保育の基本的な運営費用を補う施設型給付費、延長保育を実施した施設に交付する延長保育事業補助金、ICTシステムを導入した施設に対する業務効率化推進事業補助金などがあり、保育施設の運営を支援しています。

Q. 園児や保護者を対象とした支援はあるか。

A. 幼稚園、保育所、認定こども園を利用する3歳から5歳児クラスの子どもの保育料が無償化されています。



佐藤好文 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

水道事業での未加入地域の現状は

Q. 地下水汚染が心配される地域では水道事業が普及し加入者が増えた状況もあるが、未加入世帯の現状はどうなっているか。また、佐原方面で進んでいない地区があるが今後どのように進めていくのか。

A. 事業認可区域内の未加入世帯は、佐原地区3979世帯、小見川・山田地区2029世帯、栗原地区580世帯となっています。事業認可区域外を事業認可区域とするには、県に変更認可を受ける必要があり、その地域に水を送るためには送水管、配水管の布設、配水場、ポンプ場等の設備が必要となり多額の費用がかかります。将来負担を考慮し、給水区域の拡張は慎重に考える必要があります。

管、配水管の布設、配水場、ポンプ場等の設備が必要となり多額の費用がかかります。将来負担を考慮し、給水区域の拡張は慎重に考える必要があります。

Q. 未加入世帯への加入はどう進めるのか。

A. 水道管新設に併せ、隣接している世帯へ文書での通知や、戸別訪問により進めています。

Q. 申込加入金、宅内の工事代がかかるが、負担の状況は。

A. 給水申込加入金はメーターの口径によって異なり、一般的な20ミリで消費税込み22万円と検査手数料がかかります。宅内の工事代は、工事店で異なります。

Q. 今後、水道管や施設が老朽化し修繕費が増え、給水人口が減少すれば料金収入が減り事業の運営は厳しくなるが、水道料金改定の検討はされるのか。

A. 持続可能な水道事業とするため将来の施設更新に係る経費、料金収入などの財源について検討し、その結果を反映する「経営戦略」の改定を今年度予定しています。その改定作業の中で水道料金も同時に検討していきます。

香取市の小中学校の水泳授業の状況は

Q. 市内の小中学校の自校プールの活用は12校、実施は一学年で10時間程度。水泳の授

業が2時間の学校は複数の学年で実施しているようだが、民間プールを使わないと授業が難しい点があるのか。

A. 民間プールを利用しているのは小学校で2校、中学校で1校です。中学校は、プールがなく、小学校はプールはあるものの酷暑の影響で屋外プールの利用が難しい日が増えています。また、プールの老朽化が進み多額の修繕費用がかかっています。香取市が委託した民間プールは室内プールなので、暑さの影響を受けにくく、施設管理、修繕等は業者が行うため将来的な展望も含め利用を開始しました。

Q. 民間プールの利用状況は。

A. 小学校は令和7年度から利用を開始し、香取小学校が6日間、瑞穂小学校が12日間の利用です。佐原中学校は平成21年度から利用を開始し、今年度は授業の利用が11日、部活動の利用が47日です。

Q. 年間の費用負担の状況は。

A. 小学校の今年度の実績は、2校で75万円。中学校は利用期間の途中ですが今年度の見込みは授業で67万5000円、部活動で63万円となっています。

Q. 民間プールの管理、運営の状況は報告されているか。

A. プールの管理全般は委託業者が行い、水温や塩素濃度、水質検査の結果を実施校に報告しています。

河野節子 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

子育て世代が住み続けた い街にするために

Q. 妊娠初期から子育て期にわたって切れ目のない支援をうたっているが、香取市として特記すべき独自の支援策は。

A. 子ども医療費や不妊治療費等の助成などの経済的支援、結婚新生活支援補助金の交付、また今年度からは、1か月児健診助成事業を行う予定です。そのほか、放課後児童クラブの拡充や保育所等の受け入れ環境の整備などに加え、児童館やコンパスなどお子さんが自由に遊べる環境を整

えるほか、こども家庭センターを早期に立ち上げ、子育て世帯の精神的な支援も切れ目なく取り組んでいます。

Q. 見直し後の不妊治療助成の効果は。

A. 実績として、令和6年度の助成件数は20件、助成を受けた方が出産した人数は7人でした。また、令和7年7月末までの助成件数は11件、助成を受けた方が出産した人数は7人となっています。

Q. 不妊治療による妊娠で多胎児出産が増えていると聞くが、香取市の現状と多胎児世帯への支援策は。

A. 多胎児の出生数は、令和4年度が双子2組で4人、令和5年度が双子5組で10人、令和6年度が双子6組で12人と三つ子1組で3人でした。また、令和7年7月末までの出生数は双子1組で2人となっています。支援策としては、妊娠期から育児期まで専門職が多胎児特有の課題に寄り添った相談支援等を行っています。経済面では14回の妊婦健康診査に加えて、多胎妊婦に対しては、1回当たり上限5000円、5回を限度に助成しています。

Q. 同一世帯内で同時期に複数の児童が保育所を利用していないと第3子以降は無償にならないという国の基準は、仕事をしながら子育てをする母親たちの現状に合わない。市独自に第3子以降の保育料無償化をすべきだが対象児童数は。

A. 令和7年4月1日時点で45人です。

Q. 産後ケアの利用状況と利用者の感想は。

A. 令和6年度は、通所型が6人で延べ28回、宿泊型が6人で延べ29日の利用でした。令和7年7月末までは通所型が5人で延べ7回、宿泊型が10人で延べ58日の利用となっています。利用した方からは、産後は授乳や夜泣きで眠れず疲れていたが、ゆっくり休むことができた。産後の不安や悩みの相談に乗ってもらい、気持ちが楽になったなど、好評をいただいています。

Q. 一目瞭然の子育て支援策をHPで周知すべきだが。

A. 香取市のホームページに子育てに向けた専用ページを目立つ位置に配置しています。昨年度作成して、子育て世帯に配布したノベルティグッズに印字してある二次元コードからスマホ等でアクセスすることも可能となっています。

意見 香取市在住の若い世代が、自然豊か子育てしやすい街として、住み続けたい街になるように、より一層一人一人に寄り添い当事者の目線に沿った支援策を講じること。多胎児家庭にはおむつ代やミルク代の経済的支援、同一世帯の複数児童が同時に保育所になくても第3子以降を無償にするための予算化を強く要望します。



ココがききたい Q&A

辻

達広 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。



救急医療体制の向上で 安心安全の街づくりを

Q. 現在の救急搬送のおみがわ医療センターの受入率（応需率）が低く、市民からは不安の声が聞かれるが、市の受け止めと対応はどうか。

A. 地域住民からの救急医療の要望が高いことは認識しています。香取おみがわ医療センターでは、近隣の関係組織と連携し受け入れ態勢を整えているとのことですが、また、香取市では救急医療の適正な利用を呼びかけています。

Q. 応需率の向上に向けて、市として、また広域的な枠組みの中で、県や医師会、さらには消防機関とどのような協議を進めているのか。

A. 香取おみがわ医療センターでは、鹿島地方事務組合消防本部と情報共有を図り、関係機関との連携体制を整えているとのこと。また、平日日中の救急担当医の配置、病棟看護師の応援体制の構築などにより多くの受け入れを可能としています。

Q. 医師・看護師の確保、勤務環境改善に向けた具体的などのような施策を検討しているのか、救急応需率を改善するために今後どのような方策を検討しているか。

A. 香取おみがわ医療センターでは、千葉大学等との連携強化や、医師紹介会社の活用、資格や診療実績を反映した給与制度の構築などで常勤医師の確保に努めています。香取市では看護師確保策として、一定の要件を満たせば償還が免除される修学資金貸付事業のほか、大卒看護師の確保に向け東京情報大学看護学部との連携強化に取り組んでいます。今後は関係機関を交え、大学側とより具体的な方策を協議していきます。

意見・要望

医療機関や福祉施設との連携を進め、医療資源を効率的かつ効果的に活用していくという方向性は、これからの地域包括ケアの実現に向けて大変重要であり、注視し

ていきたいと思っています。

スローシティ構想の推進で住み易く暮らしやすい街づくりを

Q. 慶應義塾大学 SFC（湘南藤沢キャンパス）研究所の調査・研究の進捗状況を、市はどのように把握しているのか。

A. 学生の活動により、「歴史と文化の連続性」「水郷の自然環境」「伝統的な生活様式」など香取市ならではの魅力が明らかになり、これらはスローシティの理念と親和性が高い資源と認識しています。

Q. スローシティ構想を持続可能な地域戦略として推進するために、今後のロードマップや目標設定について、市はどのように検討しているのか

A. 市民とのワークショップや巡回展を通じ、「見える化」と再定義を進めていきます。その成果を踏まえ、中期的には市民、大学、有識者との協議の場を設け、国内外の先進都市との交流も視野に、国際スローシティ連盟への加盟も検討していきます。

意見・要望

歴史・文化・自然の「独特の豊かさ」を、スローシティの理念のもとに再定義し、シビックプライドを醸成しながら、持続可能な地域社会へと昇華させていくことが、香取市の未来を切り拓く道筋であると強く感じます。

久保木 宗一 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

小見川高校で（准）看護師資格を取得できるように

Q. 看護師の確保ができたのは香取おみがわ医療センター附属看護学校があったからで、なくした場合は看護師不足に陥ることは間違いない。奨学金で看護師を確保するのは30年前の話で現実には無理。都市部の看護学校の卒業生が香取市へ戻ってくるかといえば、ほとんど戻ってこない。

A. 附属看護学校のことから、さらには佐原の准看学校、そして小見川高校の医療コースを含めながら考えなければいけない案件、施策をご提示いただきました。こういった関係機関とは広くいろいろな可能性、そして既存の各種機関をしっかりと反映させながら頑張っていきたいと思えますので、これらの団体とコミュニケーションを取りながら進めていきたいと思っています。

い。都市部の病院も看護師不足に陥っており、看護師の獲得競争の中にある。うちの病院に就職すれば、田舎の自治体からの奨学金は即一括で全額返済すると。奨学金をどれだけ増加しても、若い地元の出身者は帰ってこないのが実態で、看護師を奨学金で確保できるというのは夢物語だ。高校で准看護師の資格が取れば、医療センター附属看護学校の生徒を確保できる。小見川高校に医療コースが誕生し、20数名の生徒が学んでいる。医療関係に進みたいとのこと。小見川高校、香取おみがわ医療センター及び千葉県ともよく相談してほしい。小見川高校で准看護師の資格が取得できるよう、ぜひ市長に進めていただきたい。



千葉県立小見川高等学校



うちやま かつみ
内山 勝己 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

香取市の農業政策と物価高騰対策は

地域農業経営基盤強化促進計画の現況は

Q. 農業の担い手対策・労働力対策は。

A. 認定農業者に加え、新規就農者を地域の有望な担い手として、国・県の補助制度を最大限活用して支援するほか、耕作放棄地の解消と併せて農業生産法人等の企業参入を推進するなど、持続可能な農業体制の整備に取り組んでいきます。

Q. 農業者の労災保険加入状況は。

A. 労災保険加入は労働基準監督署の管轄となり、市町村別、産業別の統計情報は公開されていません。現在、小規模個人農家は任意加入となっていますが、厚生労働省労働政策審議会で加入義務化が検討されています。

Q. 農地の基盤整備の状況は。

A. 香取市では基盤整備事業として6事業を展開しています。今後も県営圃場整備事業等を活用し、香取市の農業振興を図っていきます。このほか、小規模土地改良事業に対する補助金交付や原材料支給、また多面的機能支払交付金の長寿命化活動で農道や農業用排水路の補修や更新を行うことも可能なので、地域の要望や意向に沿った取り組みを進めていきます。

令和7年度産米の現状と今後の見通しは

Q. 飼料用米等の転作状況は。

A. 主な転作作物の令和7年産の作付状況は、飼料用米が約439haで、前年比約970haの減少。ホールクロップサイレージ用稲が約168haで、前年比約27haの減少です。米価高騰に加え、国が主食用米増産の方針を示したため、今後も転作作物の作付面積の減少が予想されます。

Q. 米価高騰による賃借料(年貢)の変化の状況は。

A. 賃貸借契約の多くは、米価を参考に賃借

料を算定した10年間の長期定期契約となっており、米価の価格変動には対応していません。

Q. 耕作放棄地解消に向けた取り組みは。

A. 耕作放棄地の面積は541.7haで、農地面積の約5%となっています。解消に向けた取り組みとして、農地の担い手を確保するため農地の斡旋を積極的に進めています。また、農業委員、農地利用最適化推進委員が農業従事者の方と情報共有を図り耕作放棄地解消に取り組んでいます。

Q. 家族協定の締結状況は。

A. 直近3年間の協定の締結件数は、令和4年4件、令和5年7件、令和6年1件です。

Q. 農業者年金の加入状況は。

A. 直近3年間の新規通常加入者数は、令和4年が6人、令和5年が2人、令和6年が5人となっています。また、令和7年4月1日現在の受給者数は443人、今後受給開始予定者は86人となっています。

香取市の物価高騰対策は

Q. 物価高騰が続く中プレミアム付商品券の発行が有効な対策と考えるが可能か。

A. プレミアム付商品券発行事業は、過去の実績から一定の経済効果があったと認められます。今後も市民等のニーズを踏まえ、国からの交付金等の活用を含め検討していきます。

根本 太左衛門 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

おみがわこども園、ひまわり苑の無償譲渡は暴走ではなかった

Q. おみがわこども園の建物、ひまわり苑の無償譲渡は議員の説明等で暴走ではなかったことが明らかになる。市民に謝罪する考えは。

A. 運営面は良好であると認識しております。長期的な視点での検証も必要であり、現時点で謝罪する考えはございません。

産婦人科の診療所の件

Q. 産婦人科診療所は前市長が香取市とみずたに会とで契約を締結してあったが、伊藤市長は診療所を断念し今年中にも白紙に戻すべきでは。

A. 現在も引き続き開院に向けて、検討しているところですので、何か動きがありましたら、報告いたします。

マリンスタジアムボックスシートの件

Q. マリンスタジアムのボックスシート（4～5人席）の利用者は伊藤市長の会社法人数10名で約70試合の利用をしているのか。

A. 私の会社の従業員は10人程度です。ボックスシートの利用は従業員に限らず、お付き合ひのある市外企業や市外の友人にも声を掛けております。また、観戦が困難な場合は、正規の手続きを経て、他の方にご利用いただいております。

嘘をついてまでのデイズニールランド

Q. 今年6月議会の答弁では千葉大学の講演会に参加とのこと。大学の学部を聞いたらプライベートに関することと答弁なし。なぜか。

A. 大学の学園祭は広く全体学部に対する出展や発表等がありますので、単独学部で行われているイベントはありません。私が所属している部門として、人文公共学部と答えたところですので、それらに関連する部門、ブース、イベントなどのお手伝いに参加していました。

おみがわ医療センター附属看護専門学校

Q. 今年の3月議会ですら今年度限りと言いつつ、また生徒の定員割れを知りながら1億円以上も血税を費やすつもりなのか。

A. 広域的にいろいろな連携を進めたいと考えています。看護学部がある大学と連携をしながら、何とか地域の医療人材の養成機関を残せないかを念頭に置き、検討していきたいと思っております。

意見 この度、伊藤市長あてに開示請求書を提出。内容は、市長、副市長、市議会議員、市職員とみずたに会との会議録の全てです。会議録を見る限りではみずたに会の撤退理由の第一は議員の発言が大きいのではと感じる。また、看護学校の件でも議員の発言等で次期選挙が終わるまではとのことだ。



井上 徹議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

産科クリニック誘致事業の現況は

Q. 令和6年12月に市長と副市長が二人でみずたに会を訪問しているが、こういった経緯、目的か。

A. 令和6年12月26日にみずたに会理事長と面談した際は、改めて開院に向け調整を進めていただきたいというお願いをさせていただきました。その後、出生数が香取市でも今後更に減っていく見通しであることを伝えたところ、開院後の経営について大変心配をされている様子でした。私からは、ぜひとも開院を進めていた

きたいとお願いをしました。

Q. 香取市に來ても県立病院に産科があった時から出生数が少ないから、みずたに会が來ても少ないだろうと言う発言はあったか。

A. 出生数が少ないことを前提に、開院後の経営が可能なのかという意味で確認する発言をしました。

Q. クリニックとして病院よりお産しやすい環境を整えることで、出生数は少し確保できると言う話に対してどういう返事をしたのか。

A. 方針や設計などから、利用者にとって非常にリラックスできて有意義な空間であるという考え方等は理解していたつもりです。

Q. このまま静かに時が経てば市民は忘れるだろうからと発言され、お互いの為に静かにしていましようというような提案をされたと言っているが、何の提案か。

A. みずたに会側が香取市で開院後の経営について大変心配している様子でしたので、今は一旦手を止めて、心配事が解消されるまで待つてみてはどうか、協定を結んだまま状況が改善するまで事業の進行を見合わせる考えもあるのではないかと、うお話をしました。

看護専門学校の開校の現状は

Q. 市議会全員協議会での開校スケジュール

では学生募集行為の中止を県に届け出とあるが現状はスケジュールどおりではない。法人からの開校申出を承諾した後、心境の変化などあったのか。

A. 3月市議会定例会で開校の申出は法人の決断を尊重する考えである旨、答弁しました。しかし、改めて考えた結果6月定例会では、法人の意見は尊重すべきと考えますが、看護師養成機関を残せないか、香取市として法人とは違う観点から各種関係機関と検討したい考えとなり、そのような答弁をしました。

Q. 何の説明もなく全員協議会で説明したスケジュールを実行しないのは問題では。

A. いろいろ考えた過程の中で、そのように発言しました。

Q. 産科クリニックもそうだが、議会軽視とは思わないか。

A. そうならないような様々な動きがあれば逐一報告、説明をしたいと思えます。

Q. 看護専門学校に必要な費用を香取市はどれだけ負担しているか。

A. 香取おみがわ医療センター附属看護専門学校の運営に要する経費負担は、当初予算額ベースで令和4年度が5255万2000円、令和5年度は5355万2000円、令和6年度は5975万3000円、令和7年度は6508万7000円となっています。

田代 一男 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

千載一遇の成田空港 「第2の開港」を生かせ

Q. 成田空港では、2028年度末の「第2の開港」をめざし成田空港周辺9市町のエアポートシティの実現に向けた取り組みを推進しているが、香取市の具体的な取り組みの内容は。

A. 令和5年度に「香取市地域未来投資促進法活用可能用地選定業務委託」を実施し、物流関係の候補地の検討を行いました。また、令和6年度の「成田新産業特別促進区域基本計画」の変更により追加された

農業、観光の分野については、特に活用が期待できることから、企業の進出先として香取市が選ばれるよう取り組んでいきます。

Q. 「第2の開港」で空港内従業員が4万人から約7万人に増加すると想定されている。香取市にとって、その方々の住宅を確保することが人口を増やす千載一遇の機会である。住宅地の造成についての見解は。

A. 成田空港周辺市町では、住宅地の整備に取り組んでいる自治体もあり、香取市も住宅地の整備を検討する必要があると考えています。具体的な取り組みは、令和6年度に住宅開発候補地の選定や基本構想などを検討しました。一方で、住宅開発に携わる事業者の意向や、増加する従業員の住宅ニーズを把握することも重要と考えています。そのため、必要な情報を収集するために、千葉県や成田国際空港株式会社、NRTエリアデザインセンターとの密接な連携を図っていきます。

災害時の自宅避難者へ 「福祉サービス」を

Q. 災害時、避難所だけでなく自宅や車中などで過ごす人にも「福祉サービス」の提供を明記した「災害対策基本法等改正案」が成立

したことをどのように捉えているのか。

A. 要配慮者の避難支援を円滑に行うための、「個別避難計画」について、自治会や消防団、自主防災組織などの協力を得て、支援体制を進めていきます。次に、早期開設避難所について、高齢者や障がい者にも安全な避難生活が提供できる環境整備、福祉避難所拡充の取り組みを進めます。更に、各種訓練と協働体制強化、災害備蓄品の見直しと拡充を進めていきます。これらの施策等を一体的に推進し「被災者支援の充実」を具現化していきます。

富士山噴火に伴う警戒を

Q. 富士山が噴火すると都市機能がマヒし、人命にも関わる。降灰が及ぼす影響について、市民への周知啓発を進めるほか、噴火後の分かりやすい情報発信も重要だと考えるが、見解は。

A. 降灰から身を守るための留意事項のほか、富士山の噴火に伴う降灰への備えに特化したホームページ等の充実を図り、市民への周知、啓発に努めていきます。また、広域降灰の予測や観測等の情報が提供された際は、防災行政無線等により、屋内への避難や火山灰を吸引しないよう呼びかけるなど、適切な情報発信を行っていきます。



ココがききたい Q&A

藤木 裕士 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

おみがわこども園の民営化は、本当によかったのか

建物の無償譲渡と土地の無償貸与とした、その成果は

Q. 民営化から4年目、現在までのような財政効果がみられるか(財政負担の軽減効果)。

A. 運営費用の大部分が一般財源で賄われていますが、民営化後は香取市が委託料を民間事業者に支出する仕組みとなり、委託料のうち香取市が負担する金額の2

分の1が国費で、さらに4分の1が県費で補填されるため、市の負担額が軽減されています。

Q. 市有財産の無償譲渡は「損失」なのか。

A. おみがわこども園は公私連携法人へ移管後20年間、香取市が積極的に運営に関与していきます。公益性や市民サービスの継続性を維持する観点からも、今回の譲渡は適切な措置であったと考えます。

Q. 民営化後もおみがわこども園は「市民のための施設」として公益性を維持し運営

協定によって市の関与も継続。財産を維持しながら高額の維持費を払い続けるよりも、市の負担軽減と市民サービスの継続性を両立する形での移管は、費用便益の観点から明確に「得策」であったと理解した、この見解で間違いないか。

A. そのとおりです。

Q. 香取市としてこの決断をどう評価し、どのように市民に説明するつもりか。

A. おみがわこども園は民営化から4年間、概ね順調に運営が進んでいます。民営化の決断は、限られた公共資源を有効活用し、子どもたちに質の高い教育・保育環境を提供するための選択と評価しています。市民の皆様には、おみがわこども園のホームページなどを通じて園の現状や取り組みを分かりやすくお伝えしていきます。

太陽光発電施設のリスク対応と市の今後の取り組みは

Q. パネル破損や有害物質流出、水質・土壌汚染などの潜在リスクをどう認識しているか。また現行制度で十分と考えるか。

A. 太陽光発電施設の太陽光パネルは、通常の使用方法では地下水や土壌の汚染が発生する可能性は低いとされます。パネルの破損等による地下水や河川等の汚染が判明した場合は、県が事業者に対し汚染防止の措置を講ずるよう指導し、土壌汚染が判明した場合には、土地の所有者に汚染の状況を確認することになります。このような事案が発生した場合は、県と連携し対応していきます。

Q. 条例化の検討意思があるのか。

A. 千葉県内で太陽光発電事業を対象とした条例を制定している自治体は5自治体把握しています。これらの条例の共通事項として、災害の防止や良好な生活環境の維持、環境や景観の保全、近隣住民等に対する配慮などが規定されています。現在、香取市には、太陽光発電施設に起因する被害等の報告はありませんが、事故等による生活環境への影響も懸念されることから、条例等の制定について、近隣市町との状況、現状や課題の整理を行い、調査研究していきます。



第34回 全国市町村交流レガッタ豊岡大会



**全国市町村
交流レガッタに
市議会クルーが出場！**



市議会クルー（香取未来組）



KATORI F.D.



アラサーズ・オブ・カトリアン

9月27日、28日に、第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会が、兵庫県豊岡市の円山川公苑特設会場で開催されました。議員の部へ参加した市議会クルーは力を合わせて精一杯チャレンジしましたが、惜しくも決勝進出とはなりません。大会には香取市の市民クルーチームのKATORI F.D.（男子16歳未満の部）、アラサーズ・オブ・カトリアン（混合の部）も出場し大いに健闘しました。市議会クルーと市民クルーはボート競技を通じ、全国から集まった皆さんと水上スポーツによる交流を深めました。

議会改革特別委員会 中間報告

（令和7年9月19日報告）

本特別委員会は、議会改革全般に関して調査・検討し、議会活動の活性化を図るため、令和5年3月定例会で設置されました。

(1)「デジタル化の推進」

- ・一般質問及び質疑の通告をメール・FAXでも行えることとした。
- ・会議においてパソコンやタブレット端末を使用することができることとした。

(2)「会議の運営」

開かれた議会を目指して香取市議会傍聴規則を改正し、小さなお子様連れの方等に、より気軽に議会を傍聴いただけるようにした。

(3)「議会の組織」

「議会基本条例」の制定について検討し、「条例の制定に先立って、議会活動、議員活動の見える化を図り、できることを進めるべき」との結論に到り、常任委員会の録画映像の配信を行うこととした（現在準備中）。

(1)「議員定数削減について」

(2)「香取市長選挙と香取市議会議員一般選挙の同時選挙について」

いずれも賛成少数で、本委員会として検討しないこととした。

(3)「議員報酬の見直しについて」

議員のなり手不足の解消や議員活動の活性化に資する報酬の見直しについて、検討を進めていくこととした。

令和5年3月
令和7年3月の取り組み

令和7年5月
8月の検討状況



ワクワク議会体験



7月15日、水の郷小学校の3年生12人が議場見学に訪れました。

子どもたちは初めて足を運ぶ議場に緊張した様子でしたが、教育委員会の職員による丁寧な説明を通し、議会の仕組みに興味を深めていきました。

12月 市議会を見学しませんか？

議会はどこからでも傍聴できます。開会日に直接、7階傍聴席入口までお越しください。

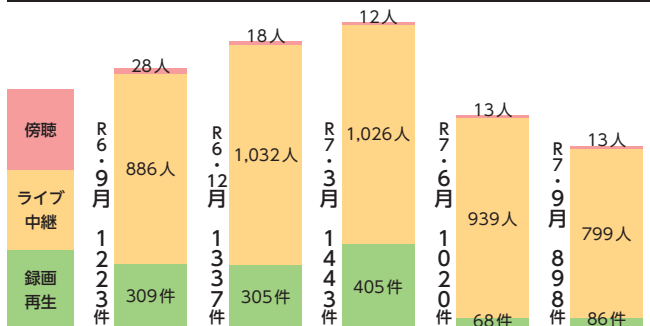
定例会の日程

11 / 25 (火)	本会議
12 / 3 (水) 4 (木) 5 (金)	本会議(一般質問調整日)
8 (月) 9 (火)	常任委員会
12 (金)	本会議

※上記は予定であり、変更となる場合があります。

※請願・陳情の12月定例会での受付は、11月14日(金)午後4時までとなります。

傍聴およびライブ中継、録画再生件数



編集後記

市議会と市は、議会活動についてご理解いただくための活動を行っています。小学生による本会議場の見学会、中学生による中学生議会を毎年開催しています。昨年度は、参加者全員が女性による女性模擬議会を初めて開催し、今年度も12月24日に女性模擬議会(女性特別委員会)を開催予定です。現在、本会議の議会中継が行われていますが、来年度は三常任委員会の映像も配信する予定です。(鈴木聖二)

市議会をより詳しく知りたいときは 市議会会議録と議会中継

議会だよりは、要約表記で掲載しているため、詳しくは市議会ホームページや会議録をご覧ください。

香取市ホームページ <https://www.city.katori.lg.jp/>
香取市議会ホームページ <https://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

会議録

会議録は、市議会ホームページ「会議録検索」から閲覧できます。9月定例会の会議録までご覧いただけます。

製本された会議録はこちらで閲覧できます。

- 市役所 ☎ 50-1217 (1階情報コーナー／6階議会事務局)
- 佐原中央図書館 ☎ 55-1343
- 小見川図書館 ☎ 80-0511

議会中継

定例会・臨時会のライブ中継は、市議会ホームページで視聴できます。録画映像は、おおむね1週間後から視聴可能です。

9月定例会のライブ中継視聴者数は799人、8月26日から9月19日までの録画再生件数は86件でした。

学校給食が無償化されましたが、昨年の令和の米騒動から始まり、現在も物価高騰が続いて給食会計を圧迫しています。自給自足の精神のもと、官民学の連携や市民の知恵を結集して、この危機を市長のリーダーシップで乗り越えてもらいたい。また、児童・生徒も食育を通し、農業体験(米・野菜の播種・収穫)をしていただき、香取市の次世代における農業の担い手・後継者に豊かなまちづくりを望みます。(木村 博)